事例No.	2181
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	東京都町田市

事例区分	公会計

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・適切な資産管理 ・財政指標の設定

事例種類	適切な資産管理

事例内容・タイトル

有形固定資産減価償却率 の公共施設等マネジメントへの活用

出典

今後の地方公会計のあり方に関する研究会（第1回）

財政指標の設定（有形固定資産減価償却率）

【事例】有形固定資産減価償却率の公共施設等マネジメントへの活用（東京都町田市）

背景・目的

○ 市全体の有形固定資産減価償却率だけでなく、施設類型別の有形固定資産減価償却率を把握することで、公共施設等のマネジメントに活用する。

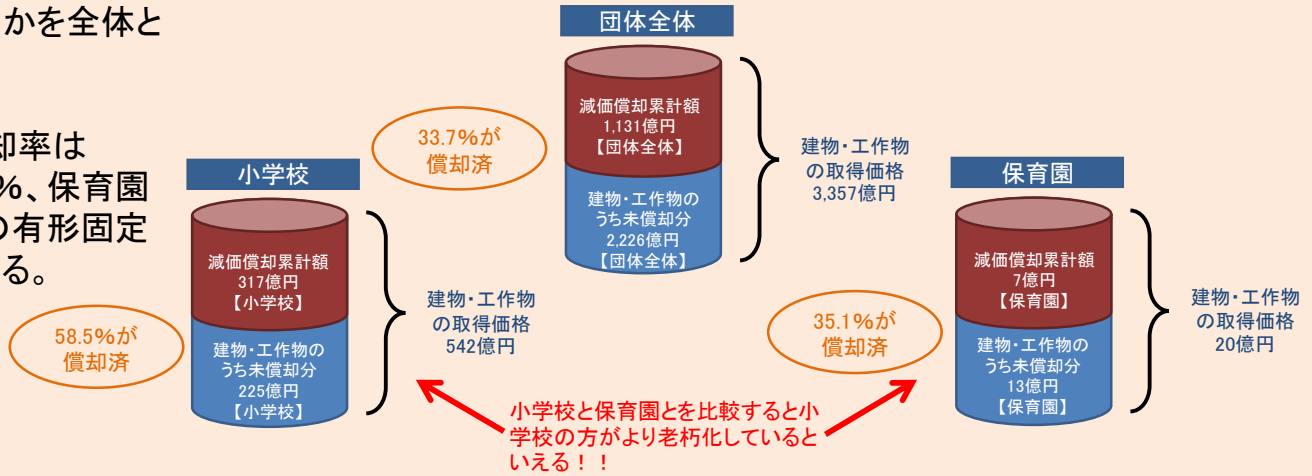
事例概要

○ 有形固定資産のうち、償却資産の取得価格に対する減価償却累計額の割合を計算することにより、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているのかを全体として把握することができる。

○ 全体の有形固定資産減価償却率は33.7%であるが、小学校は58.5%、保育園は35.1%となっており、小学校の有形固定資産減価償却率が高くなっている。

小学校と保育園のどちらの老朽化対策の優先度が高いか…

有形固定資産減価償却率＝ 減価償却累計額 ／（償却資産（建物及び工作物）の貸借対照表計上額 ＋ 減価償却累計額）



効果等

○ 当該有形固定資産減価償却率や実際の損耗状況等も踏まえつつ、公共施設等総合管理計画を進めていくこととしている。

○ 公共施設等の老朽化対策の優先度を踏まえたメリハリのある予算編成につなげることも期待される。